

令和7年度
横浜市大気環境、水環境、交通騒音、地盤沈下等年次報告書(概要)

令和8年7月発行

〒231-0005 横浜市中区本町6丁目50番地の10

横浜市みどり環境局環境保全部

電話(045)671-3507

FAX (045)681-2790

令和7年度

横浜市
大気環境、水環境、交通騒音、
地盤沈下等

年次報告書(概要)





大気測定結果報告書



環境管理課監視センターは、二酸化硫黄や一酸化炭素などの大気汚染物質を自動測定機により常時監視しています。常時監視は、区役所や小学校に設置している一般環境大気測定局（一般局）19局と、主要道路沿いの自動車排出ガス測定局（自排局）8局で行っています。

また、ベンゼンなどの有害大気汚染物質を一般局・自排局の3局、ダイオキシン類を一般局6局で測定するとともに、保土ヶ谷区仏向西に放射線モニタリングポストを置いて、地面から1メートルの高さで放射線の量を調べています。

○測定結果概要

- ・環境基準が定められた項目について、光化学オキシダントを除き、全ての測定局で環境基準を達成。
- ・有害大気汚染物質及びダイオキシン類は、調査対象の全ての測定局において環境基準を達成。
- ・空間放射線(ガンマ線)の年間最高値は0.063μSv/時。

	二酸化硫黄 (SO ₂)	一酸化炭素 (CO)	浮遊粒子状物質 (SPM)	二酸化窒素 (NO ₂)	光化学 オキシダント	微小粒子状物質 (PM2.5)
達成局数	18/18	2/2※	26/26※	26/26※	0/19	19/19※
達成率	100%	100%	100%	100%	0%	100%

※環境基準の評価対象外となった測定局は除いています。



水準測量成果表



水・土壌環境課では、横浜市の臨海地域及び内陸部の沖積平地における地盤変動を把握するため、昭和34年から1級水準測量を行っています。

令和7年度は、主に軟弱地盤である沖積低地（171.90km²）を調査対象地域として、115地点の延長146km（国土地理院測量の57kmを含む）の精密水準測量を実施しました。

○測定結果概要

- ・前年と比較が出来る成果点115地点のうち、隆起は44地点(38.2%)、沈下量0mm以上10mm未満66地点(57.4%)、10mm以上20mm未満4地点(3.5%)、20mm以上30mm未満が1地点(0.9%)で確認。

区名	観測 点数	成果 点数	沈下 点数	年間最大変動量			区名	観測 点数	成果 点数	沈下 点数	年間最大変動量		
				沈下量	町名	点番号					沈下量	町名	点番号
鶴見	7	7	6	3.4	鶴見中央 四丁目	I015-022	金沢	12	12	10	3.7	六浦三 丁目	517
神奈川	8	8	4	2.4	神奈川 二丁目	I015-028	港北	14	14	0	—	—	—
西	7	7	6	1.3	平沼 二丁目	216	緑	2	2	0	—	—	—
中	0	0	0	—	—	—	青葉	5	5	1	1.4	荏田町	M-34
南	4	4	1	2.0	中里 一丁目	715	都筑	3	3	1	4.4	勝田町	953
港南	2	2	1	1.3	上大岡西 一丁目	I10830	戸塚	5	5	4	28.9	前田町	I34
保土ヶ谷	4	4	1	1.3	天王町 二丁目	801	栄	19	19	19	12.0	長沼町	T-39
旭	0	0	0	—	—	—	泉	11	11	11	13.8	和泉町	I10350
磯子	3	3	2	1.0	杉田 一丁目	439	瀬谷	9	9	4	12.5	瀬谷 六丁目	S-22



公共用水域及び地下水の水質測定結果報告書

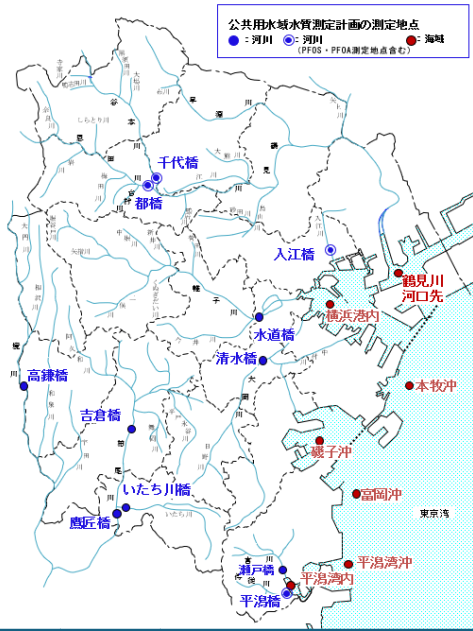


環境管理課監視センターは、「公共用水域及び地下水の水質測定計画」に沿って、河川、海域及び地下水の水質の測定を行っています。

横浜市内11河川、7海域及び地下水概況調査25地点において、環境基準項目を測定し、河川及びその底質の6地点、地下水6地点において、ダイオキシン類調査を行いました。また、河川3地点及び地下水6地点において、ペルフルオロオクタンスルホン酸（PFOS）及びペルフルオロオktan酸（PFOA）の調査を行いました。

○測定結果概要

- ・環境基準(健康項目)は、河川・海域ともに全ての調査地点で達成。
- ・環境基準(生活環境項目)のうち、河川BODの達成率は91%、海域CODの達成率は86%。
- ・地下水概況調査25地点において、全ての調査地点で環境基準を達成。
- ・ダイオキシン類調査は、全ての調査地点で環境基準を達成。
- ・PFOS及びPFOAは、全ての調査地点で指針値を達成。



	河 川 BOD	海 域		
		COD	全窒素	全磷
達成数	10/11	6/7	6/7	5/7
達成率	91%	86%	86%	71%



騒音・振動測定結果報告書



環境管理課監視センターは、道路、新幹線鉄道の騒音・振動の測定をしています。道路交通騒音については、市内の主要幹線道路を代表する18地点で測定を行い、環境基準超過の判定手法である面的評価を行いました。

新幹線鉄道騒音・振動は市内の東海道新幹線鉄道沿線2地点（各3測定点）の計6測定点において測定を行いました。

○測定結果概要

- ・道路交通騒音は、面的評価の対象の56,353戸のうち、51,745戸（92%）で昼間・夜間とも環境基準を達成。
- ・新幹線鉄道騒音は、6測定点のうち5測定点において環境基準を達成。新幹線鉄道振動は全ての測定点で環境基準を達成。

【編集後記】

みどり環境局環境管理課監視センター及び水・土壌環境課では、大気汚染、公共用水域及び地下水、道路・鉄道騒音振動、地盤沈下の常時監視を行っております。各調査結果をまとめた年次報告書、及びそれらを簡潔にまとめた概要版を発行しました。多岐にわたり御活用いただければ幸いです。年次報告書は各紹介欄の二次元コードからご覧いただけます。